

第16期開放講座

「水と街道」だより《第4回》

発行：平成27年1月発行
 発行元：国土交通省中部地方整備局
 多治見砂防国道事務所
 開放講座「水と街道」事務局
 電話：0572-25-8020

【第4回 開催概要】

開講日時：平成26年12月13日(木) 10:00~16:00 参加者：16名
 内容：地域づくりへの参加意識の向上を目的に、地域づくり団体交流会(※1)と座談会(※2)を開催しました。

- (※1) 当講座卒講生を出発母体とした5つのボランティア団体の活動内容の紹介
- (※2) 地域が抱える諸問題をテーマに班単位による討論会、発表。



まず、多治見砂防国道事務所総務課長から、開放講座「水と街道」の始まった経緯などの話をしました。

- ・多治見砂防国道事務所では、管内の砂防・道路事業を行うことにより、管内の地域づくりの一翼を担っている。
- ・管内にお住まいの方に向けて、当事務所の事業についてより深く理解して頂くと共に、自然や文化、地域づくりなどについて一緒に勉強するため、平成11年度から会員制による開放講座「水と街道」を開始した。(第1期開放講座活動記録より)

地域づくり団体交流会(ボランティア活動紹介)

次に、当講座卒講生が中心となって活動している5つのボランティア団体から、各団体の活動場所や内容の説明をしました。
 各団体それぞれが地域で実施している里山づくり、遊歩道整備、防災活動、河川などの環境美化活動などの紹介に、会員の皆さんも熱心に耳を傾けていました。
 今回ご紹介させていただいた団体以外にも、各地域で様々な団体が活動されています。みなさんも開放講座「水と街道」の受講を機に、地域のためのボランティア活動に参加されてみてはいかがでしょうか。

開放講座「水と街道」OB団体

- 「水と街道」東濃西部会 可児市、可児川左岸遊歩道整備(第1回に見学)と多治見市、生田川遊砂工公園整備
- 「水と街道」虎溪山の里山づくり 多治見市、虎溪山の里山再生(第5回に見学予定)
- 「水と街道」東濃会 中津川市、四ツ目川遊砂工にて防災教育を通しての地域づくり(第3回に見学)
- 「水と街道」え〜な〜会 恵那市、地域の防災リーダーを目指す活動
- 小里川ダム里山教室 瑞浪市、小里川ダム湖畔の里山整備を通しての地域づくり



虎溪山の里山づくりでは、里山整備での伐採木をほだ木にして、しいたけを原木栽培し、販売して活動資金を補っているなどの紹介がされました。

座談会(班別討論会)

2つのテーマ別に3班(A班は「地域づくりについて」、B班とC班は「防災問題について」)に分かれ、次の手順で行いました。

- ・各班へオブザーバーとして砂防国道事務所職員1名、OB活動団体3名程度がつく。
- ・オブザーバー進行のもと：①全員自己紹介②進め方・スケジュール等再度説明③係の選出：班長、筆記係、発表資料作成係、発表係等を選出。
- ・班長進行のもと：各班のテーマでA:全体的にどんな問題があるか。B:自分たちの地域ではどんな問題があるか。C:その解決策は何か。D:解決に向けて自分たちにできること・行動できることはなにかを話し合い、テーマを煮詰め取りまとめ、大判用紙に清書。全班集合し各班で成果を発表。質疑応答。

座談会(つづき)



A班の様子



A班発表



B班の様子



B班発表



C班の様子



C班発表

防災に関しては、近年、災害が多発してテレビなどでも取り上げられる機会が多いので具体的な議論が進みましたが、地域づくりはなかなかつかみどころが難しかったようです。
 質疑応答では、防災士の資格を持つ方からDIG(Disaster Imagination Game 机上で地図を用いた防災避難訓練の一種)について分かりやすく説明も頂きました。
 短い時間ですので、具体的な内容までは至りませんでした。有意義な話し合いができました。

発表用紙全文

A班「地域づくりについて」

- 街の活性化
- 魅力資源の発見
- 商店街の活性化
- イベントの開催
- 若者の街ばなれの解消

- ①特徴あるお店紹介
- ②まち検定試験とPR
- ③名所と連携、コースマップ作り
- ④史跡の発掘、PR
- ⑤他の団体との連携
- ⑥組織OR人作り

B班「防災問題について」

- 水害から命を守る
- ①全体的にどんな問題があるか
- ・避難場所、経路に不安あり
- ・災害弱者(要支援者)高齢者
- ・アンダーパスの認知
- ・ハザードマップが活用されていない
- ②自分たちが住んでいる地域の問題
- ・経路が危険か否かをシミュレーションする

- ・災害弱者は普段からコミュニケーションが大切
- ・子供に防災教育をする
- ・アンダーパスとは何かを認知する
- ③その解決策は何か
- ・避難場所の見直し
- マイ避難所…無理して離れた場所(学校、公民館)へ行かなくても近所で安全な場所を確保
- ・近所での声掛け
- ・DIG(危険イメージゲーム)を地域で行う
- ④解決に向けて自分たちに出来ること
- ・地域とのコミュニケーション!
- ・自助(自分の命は自分で守る)
- ・各自が防災意識を高める!
- ・防災訓練や防災図上訓練(DIG)に進んで参加する!

C班「防災問題について」

- テーマ:防災について
- 課題:安全で安心な災害に強い街にするには
- ①全体的にどんな問題があるか
- 分類 水害、地震、火災

- ②自分たちの住んでいる地域にどんな問題があるか
- (1)災害時の伝達が少ない
- (2)防災無線が機能しない
- (3)災害時の連絡伝達方法が明確でない
- (4)危険場所を把握していない
- (5)防災訓練に対する一般市民の意識が低い
- ③その解決策
- (1)どんな危険個所にどんな人が住んでいるか把握する
- (2)隣近所とのコミュニケーションをする
- (3)防災無線受信機を各戸に置く
- (4)携帯電話に市防災情報設定をPRする
- (5)行政へ正確な情報を連絡する
- (6)地域を探散して危険地域を知る
- (7)行政的な伝達法の他に個人的に連絡する
- ④解決に向けて自分たちの出来る事
- (1)自分で防災マップを作成して避難箇所を確保する
- (2)地区地域の歴史を知る(淵、洞、沢、谷などの名前の付く場所を知る)